

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立星が丘デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人上溝緑寿会
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に關与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市中央区星が丘4-9-1 星が丘住宅1階 延床面積：431.68㎡(機械室除く) 主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室 構造：鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時30分から午後5時まで 休所日：日曜日及び年末年始(12月30日から1月3日まで) 定員数：25名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数合計(人)	5,612	4,923	5,106		
うち要支援1(人)	92	26	0		
うち要支援2(人)	457	376	372		
うち要介護1(人)	1,009	1,246	1,510		
うち要介護2(人)	1,762	1,855	1,508		
うち要介護3(人)	1,364	587	993		
うち要介護4(人)	811	723	553		
うち要介護5(人)	117	110	170		
介護保険事業収入(円)	54,386,640	47,387,987	50,881,260		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の達成度は73.1%であり、評価基準により「D」と評価した。 ・前年度と比較して、利用率が上昇したことについては評価できる。しかしながら、達成度の数値からD評価が2年間続いており、利用率の向上のための取組を積極的に進めていただきたい。

指標	
指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数÷（1年間の営業日数×利用者定員数） ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	95.0	95.0	95.0		
実績値（%）	72.6	64.1	66.1		
達成度（%）	80.2%	70.8%	73.1%	#DIV/0!	#DIV/0!

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になる。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となり、令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整している。

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況の達成度は106.3%であり、評価基準により「A」と評価した。 ・年間を通して事業が実施されていることは評価できる。 ・令和5年度以降はデイサービス内での地域の方との交流を目的とした活動やイベントの開催を期待したい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
納涼祭	8/18～20, 22～24	輪投げ、コイン落とし、射的、すいか割りなど昔ながらの遊戯を行っていただき、盆踊りを2～3曲行い職員と共に利用者も参加した。 計6日間で延べ利用者99名の方が参加。	○
敬老祝賀会	9/15～17, 19～21	施設において敬老祝辞や記念品の贈呈、集合写真撮影を行った。記念品の紅白饅頭については地域の和菓子屋に発注した。 計6日間で延べ利用者102名の方が参加。	○
運動会	10/6,8, 10～12,14	星リンピック(運動会)を施設において開催した。パン取り競争、大玉転がし、応援合戦、鈴割りなどの競技へ参加した。 計6日間で延べ利用者97名の方が参加。	○
出張握り寿司	11/21 12/7	寿司職人による出張寿司を開催した。昼食前から握り始め昼食として新鮮な握りたての江戸前寿司を提供した。 計2日間で利用者34名、寿司職人2名が参加。	○
年忘れ演芸会	12/15～17, 19～21	日替わりの演芸内容で開催した。職員による二人羽織、ソーラン節演舞、利用者参加でのカラオケ演芸会、クリスマスケーキ創作へ参加していただいた。 計6日間で延べ利用者98名が参加。	○

機能訓練外出 (①花見、②あじさい、③紅葉、④初詣、⑤梅、⑥桜)	①4/1～6 ②6/16～18、20～22 ③11/19 ④1/19～25 ⑤2/23～25、27～3/1 ⑥3/27～3/31	①上溝本町の桜を見学した。桜や蔵の見学など庭園内を散策した。 計5日間で延べ利用者27名の方が参加。 ②麻溝公園、相模原北公園へ外出した。公園散策と同時に紫陽花を見学した。 計6日間で延べ利用者40名が参加。 ③横山公園へ外出した。公園散策と同時に紅葉を見学した。 利用者10名が参加。 ④亀が池八幡宮内を参拝した。 計6日間で延べ利用者40名が参加。 ⑤相模原北公園へ外出した。 計6日間で延べ利用者43名が参加。 ⑥上溝本町の桜を見学した。桜や蔵の見学など庭園内を散策した。 計5日間で延べ利用者38名の方が参加。	○
軽食創作活動 (①水無月、②オムレツケーキ、③梅ヶ枝餅)	①5/26～6/1 ②11/7～9、24～26 ③3/10,11,13	①利用者が中心となり、粉から練って『あんこ』を包み、各々の方が自身で創作したおやつを召し上がっていただいた。 計6日間で延べ利用者102名。 ②ホットケーキミックスで生地を創作し、お好みの『クリーム』『フルーツ』を選んでトッピングした。 計6日間で延べ利用者97名。 ③生地から作り、中身の餡を包む工程や焼きの工程など利用者全員で分担し取り組んだ。 計3日間で延べ利用者42名。	○

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ラジオ体操	平日	平日の朝8:30～のラジオ体操の場を提供した。 実施日数243日 延べ参加者1,542名	◎

※施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民が参加できる多世代間交流や地域活動の促進に繋がる事業については、広がりのある取組として評価し「◎」と評価する。

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	・利用者の満足度の達成度は101.4%であり、評価基準により「A」と評価した。 ・利用者満足度調査における利用者の意見を積極的に取り入れている点は評価できるが、外部機関による評価の実施を検討いただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	法人独自の無記名アンケートを期間中実績のある利用者48人に配布し、回収は42人(回収率87.5%)。 実績値(満足度)は次の計算式により求めた値。 「事業所に対する評価の全設問(39問)の合計点÷(最大点数(3点)×全設問の有効回答数)×100」 ※配点は満足3点、まあ満足2点、やや不満1点、不満0点。該当なし、無回答は採点の対象外。
目標値の基準	平成29年度から令和3年度に実施した5年間の各市立デイサービスセンターにおける利用者満足度調査の実績値の平均

項目 (単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (%)	89.1	89.1	88.3		
実績値 (%)	92.5	90.5	89.5		
達成度 (%)	103.8%	101.5%	101.4%	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	利用者・ご家族・訪問者からの意見を常時募集。玄関に設置。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	・経営状況に若干の懸念があり、施設の全体収支、事業収支ともに赤字であるため、評価基準により「C」と評価した。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)		54,439	47,531	51,025
介護報酬等		43,528	37,826	39,579
利用者負担金等		9,985	9,180	9,640
その他の収入		926	525	1,806
支出 (b)		56,957	58,630	69,424
人件費		36,100	39,559	45,471
事業費		10,756	10,984	12,614
事務費		10,101	8,086	11,244
その他の支出		0	1	95
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		-2,518	-11,099	-18,399
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	0	0
事業活動収支 【(c)+(f)】 (g)		-2,518	-11,099	-18,399
施設整備等収入 (h)		179	0	0
施設整備等支出 (i)		444	523	22
施設整備等収支 【(h)-(i)】 (j)		-265	-523	-22
その他収入 (k)		0	89	0
その他支出 (l)		2,237	3,501	384
その他収支 【(k)-(l)】 (m)		-2,237	-3,412	-384
全体収支 【(g)+(j)+(m)】		-5,020	-15,034	-18,805
備考	▽前年度との比較 ・人件費の増は本部事務職員分の計上変更、派遣職員の人数増によるもの。 ・事業費の増は光熱水費の負担増によるもの。 ・その他支出(l)の減は本部事務職員の人件費を支出(人件費)に計上したため。 ▽収入(その他) ・コロナ対策事業補助金268,504円、支援金1,100,000円を含む。			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和5年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

対前年比で延べ利用者数は増加となっています。新規利用者30名の受け入れを行い終了者は27名となっており、年間で3名の実利用者数の増加となっています。例年に比べ入所による終了者も増加したが、終了者を上回る新規利用者の獲得ができています。これは平成28年度以来のこととなります。年度末での増加であったため、実績への反映は少なくなっています。

中重度比では年間実利用者で32.8%、年間延べ利用者で36.2%。特に延べ利用者については年度後半である10月より40%前後を維持しています。中重度以上の方の利用ニーズが一定数を満たしていると考えられます。

経営状況では、収入面では利用者数の増加により微増となっていますが、昨年度同様に派遣職員の採用を継続しており、支出面は増加となりさらなる赤字経営の状態となっています。適正な人員配置、利用者数に見合った適正な人員配置を行います。

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防を考慮しての活動ではあったものの、機能訓練外出などの外出系の活動を積極的に行っています。活動時には感染者の発生を心配しながらでの開催ではありましたが、利用者の機能面での低下など目の当たりにし歩くことの重要性を再確認しました。

今後に向けては、スピーディーな窓口対応や柔軟な受け入れ体制を整え、新規利用者を安定的に確保すること、複数回利用を無理なく勧め、稼働率の向上と在宅生活支援を行っていくこと、そして適正な人員配置を行うことが急務となっています。

10 所管課意見

令和2年度以降、コロナ禍での施設運営におかれては、高齢者が通所する施設であることから、感染対策などの対応に、並々ならぬご苦労があったことと推察いたします。

しかしながら、こうした状況下においても、利用者が安心して通える環境を確保し続けていただいたことに、所管課として、感謝しています。

利用者の満足度の指標に、特に高い結果を出していただきました。利用者が安心して通える施設として職員の皆さんの努力の結果だと思っています。

引き続き、モニタリングの各指標の向上のために、サービス内容の充実に取り組んでいただきたいと思います。

11 選考委員会意見

- ・利用者増はプラスの要因であり、引き続き新規利用者の開拓はいろいろな工夫をして進めていただきたい。
- ・利用者満足度調査の結果をもとに利用者の意向を汲んだ事業を積極的に取り組まれている点は評価できる。
- ・利用者満足度調査については、法人独自の調査ではなく外部機関による評価の実施を検討いただきたい。
- ・年間1,800万円の赤字となり経営状況はとても苦しい中、介護業界全体で賃金の問題などもあるが、これから対策を取られていくことを期待したい。ただし、サービスが低下しないように、きちんと人材の確保と育成に努めていただきたい。
- ・繰越活動増減差額が減少してきているので、しっかりとした収支管理に努めていただきたい。
- ・6名のライフストーリーを作成し、利用者の得意なこと、強みを生かして事業を展開していることは、地域共生社会の理念のもとに実施しており評価できる。

総合評価（自動判定）

C

(50/100)

